




その花びらにくちづけを


ふぐり屋








それは桜舞う
4月のことでした



わたしの身を包む
真新しい制服は…
白いカラーには
濃緑色のライン

胸元には同じ
濃い緑色をした
大きなリボンが
可愛らしく揺れる

それだけでも十分
素敵な制服なのだけど…
わたしが一番
気に入ったのは別のところ



ワンピースタイプの
スカートは両サイドに
プリーツが入っていて

お尻の少し上には
これまたリボンがひとつ

初めてこの制服を見た時
まるでウサギの
尻尾みたいだと思った

それがキツカケ

それだけでわたしの
心は決まっていた

いつか自分もこの
『聖ミカエル女子学園』の
制服を着るのだ…と





ううう…なのに
なんでこんなことだっ

改めて見ると
そこには――

茂みから伸びた…一本の
鋭い枝に引き裂かれた
わたしのスカートが…



神様は時々
信じられないくらいの
イジワルをする

わたしが
今日という日を
どのくらい
心待ちにしていたか

夕べなんてこれから
始まる学園生活を
想像して興奮して
眠れなかったくらいだ

なのに
どうして...



ぐすっぐすっぐすっぐすっ...

せっかくの入学式なのに
ずっと憧れていた
制服だったのに...

もうやだあ...
ぐすっ



自然と
涙がこぼれた

いつそこのまま家に
帰ってしまいたい

その時――



なにを
泣いているの??

え...??

ふいに
聞こえてきた声




こんな所で
泣いているなんて…
なにかあったの？

その人はとても
優しい声で…わたしに
話しかけてきた

あ…





その時わたしは
情けない姿を人に
見られたことより…

目の前に現れた
『あの人』の姿に
我を忘れていた

まるで
マリア様のよう——

ついさつき 教会の
ステンドグラスから
抜け出してきたような…

ううんまさに天国から
降りてきたみたいだった




あら…スカートが
破れてしまったのね

へ？あ…
ええつと…

待ってて？
今繕ってあげる



The image depicts two anime-style characters in a lush garden. On the left is a girl with long, vibrant red hair styled in pigtails with purple bows. She has purple eyes and a neutral expression. On the right is a girl with long, flowing blonde hair and blue eyes, looking thoughtful with her hand to her chin. Both are wearing matching red school uniforms with white sailor-style collars and black bows. The background features a stone fountain with a statue, surrounded by green foliage and pink flowers.

そう言つて 突然
現れた人は わたしの
前にかがみ込む

そしてどこからともなく
ソーイングセットを取り出すと
手慣れた様子で繕いはじめた



あなた 新入生？

はいそうです！
新入生です！


お名前…聞いても
よろしいかしら？



な七海ですっ
七つの海って書いて
…七海!

そう 七海さん…
素敵なお名前ね♪


あう…

The image depicts two anime-style characters in a lush garden. On the left, a girl with long, vibrant red hair styled in pigtails with purple bows. She has purple eyes and is wearing a red school uniform with a white sailor collar and white thigh-high socks. Her hands are clasped in front of her. On the right, a girl with long, flowing blonde hair tied with red ribbons. She has a gentle smile and is wearing a similar red school uniform with a black bow at the collar and black tights. The background is a detailed garden with a stone fountain, various flowers like roses and lavender, and green foliage. Three speech bubbles contain Japanese text.

『素敵なお名前』
そう言われた途端
一気に頬が紅潮する

まるで 全身の血液が
すべて顔に
集まったような感じ

わたしがそんな状態なのを
知ってか知らずか
その人は黙々と
かぎ裂きを繕っていく

The image depicts two anime-style girls in school uniforms standing in a lush garden. The girl on the left has long, vibrant red hair styled in pigtails with purple bows. She has purple eyes and is wearing a dark red sailor-style uniform with white cuffs and a white collar. Her hands are clasped together in front of her. The girl on the right has long, flowing blonde hair with red bows and blue eyes. She is also wearing a dark red sailor-style uniform with white cuffs and a white collar. She has her hand to her chin in a thoughtful or surprised expression. In the background, there is a stone fountain with water spraying upwards, surrounded by various flowers, including pink roses and purple lavender. The overall scene is bright and colorful, with soft lighting filtering through the trees.

よかった…これなら
目立たないように
誤魔化せそう

ふいになんとも
言えない良い香りが
鼻のあたりをくすぐる

それが目の前の女の人から
漂ってくるのだと気づいた時…
わたしの心臓は
さらに鼓動を早めた

はいできた♪
これでしばらくは
大丈夫だと思うわ♪

…ほえ？

ちようどプリーツで
隠れる場所だったから…
不幸中の幸いね

はいっ ありがとう
ございますっこの
ご恩は一生忘れません！

ふふふ…
おもしろいわね
あなた

あう…

笑われちゃった…
また顔が熱くなる




キョロ
カヨロ

あら大変
急がないと…入学式が
始まってしまおうわ

ええっ!?! どどどど
どうしよう!?!





落ち着いて？
講堂へはこの先を
抜けていくと早いわよ？

はいっ
ありがとう
ございますっ

わたしは講堂に
向かって走り出す

だけどすぐに
立ち止まって
振り返り――

あ
あの！



ん…
なにかしら??

お名前…聞いて
なかったから…



あら…優菜よ
松原優菜♪

まっばら…
ゆうな…

わたしはその名前を
噛みしめるようにして
く



はい!



これから
よろしくね?
七海さん







それが――

わたしと『お姉さま』の
出会いでした





そして—
入学式から数えて
ちょうど二ヶ月



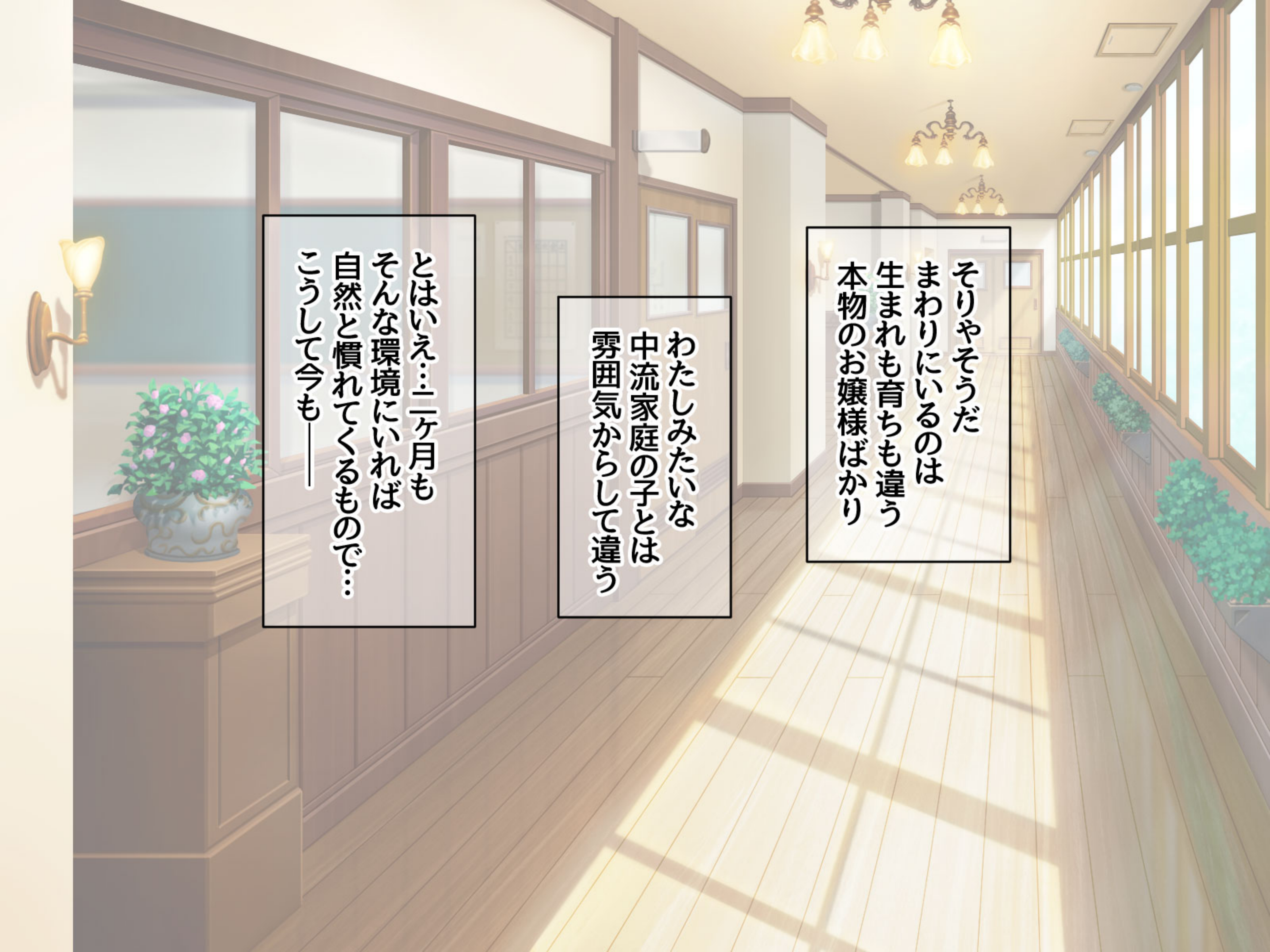
憧れの
聖ミカエル女子学園
通称『ミカ女』の
生活にもだいたい慣れた

はじめのうちには
すつごく戸惑って
ばかりだった

挨拶は『こんにちは』
『さようなら』じゃなくて
『ぎげんよう』だし…

生徒同士は名字ではなく
下の名前で呼び合うし…
上級生にいたっては
『〇〇さま』と
呼ばないといけない

そのうえ 廊下は
走ってはいけなくて
食事はゆつくり
静かに時間をかけて…



そりやそうだ
まわりにいるのは
生まれも育ちも違う
本物のお嬢様ばかり

わたしみたいなの
中流家庭の子とは
雰囲気からして違う

とはいえ…二ヶ月も
そんな環境にいれば
自然と慣れてくるもので…
こうして今も——

とんでもない
お聞きになりました？

また
いつもの噂話…？

どうしてごう お育ちの
よろしいお嬢様ってのは
他人の噂が好きなのか—

ああ 優菜さまの
ことですよわね

優菜さま!?

気がつくとも
大声をあげていた



ああら…
わたしとしたことが…
おほ おほほほ

笑い声は
『ほほほ…』

そしておしとやかに
手で口を隠して笑うのを
忘れてはいけない



相変わらず 優菜さまの
ことになると 我を忘れて
しまいますのね

あう……

でも お気持ち
分りますわあ

わたくしだって
毎朝ご登校される
優菜さまの姿には
見とれてしまいますもの

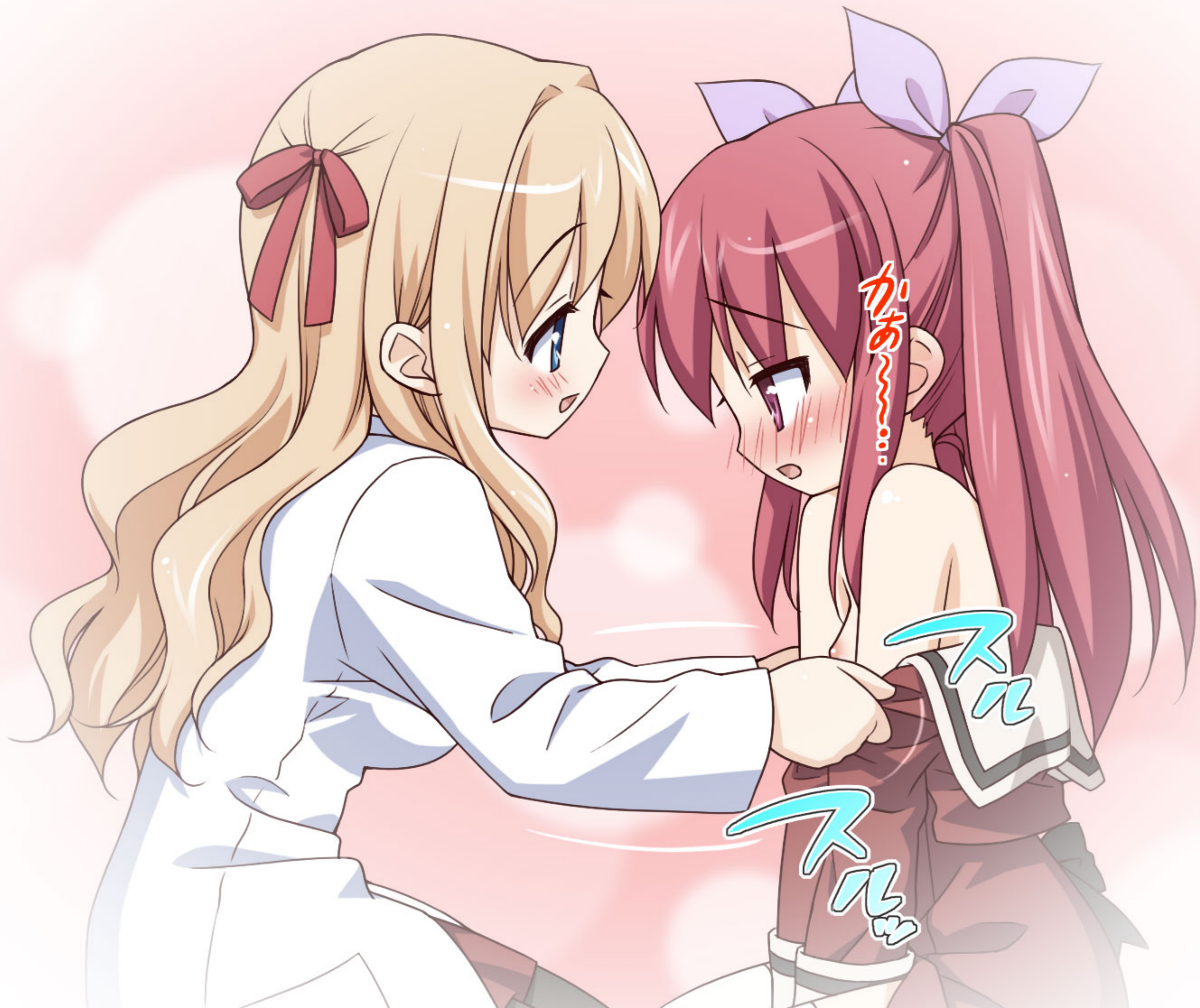


ご実家は日本全国に
病院を持って
いらっしやねのじょねへ...

成績も常に
トップクラスですし...
きっと将来はご実家の病院を
お継ぎになるのでしょうね

優菜さまが
お医者さまかあ...

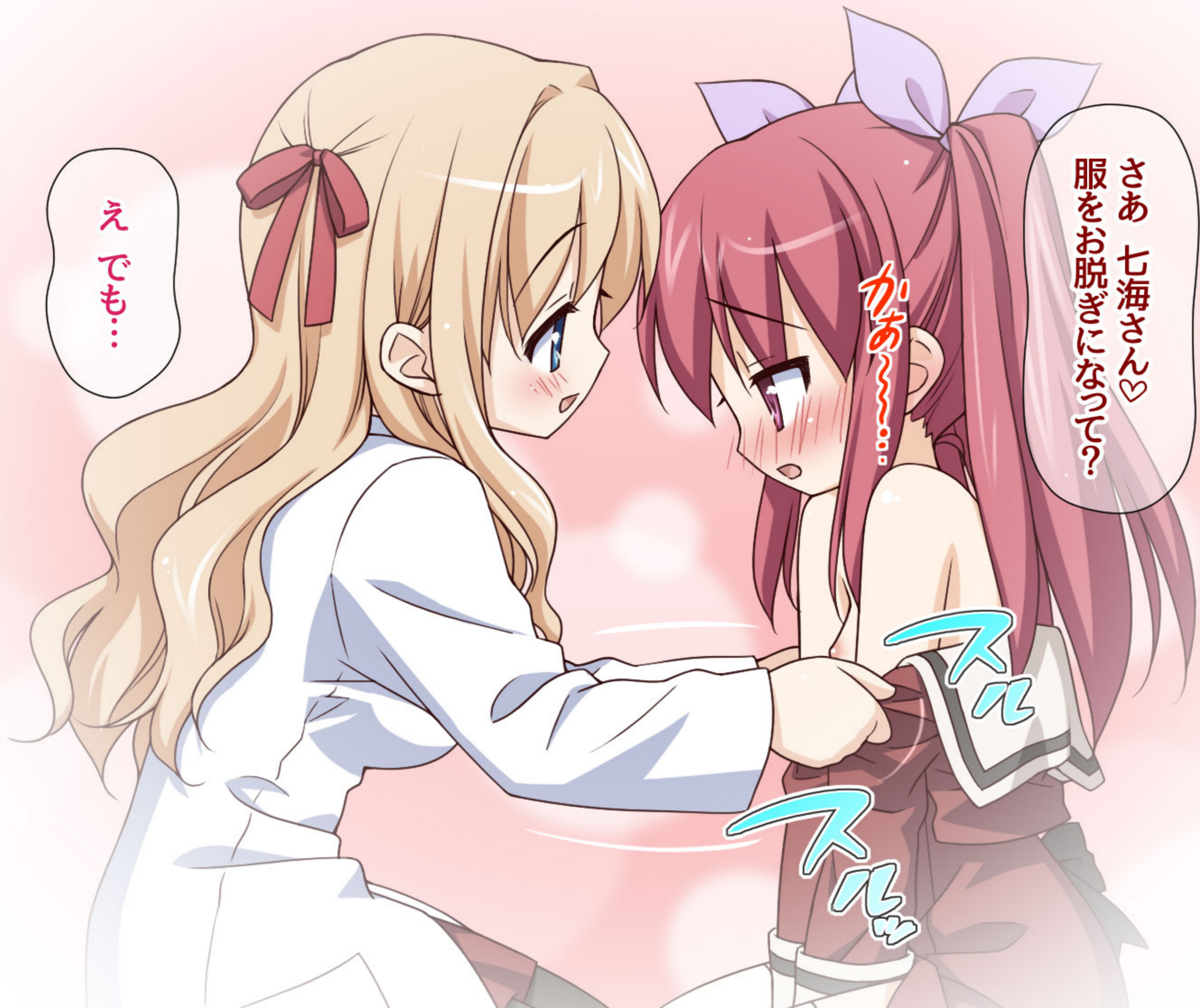




かあ〜…

スル

スル



えでも…

さあ七海さん♡
服をお脱ぎになつて？

かあ〜…

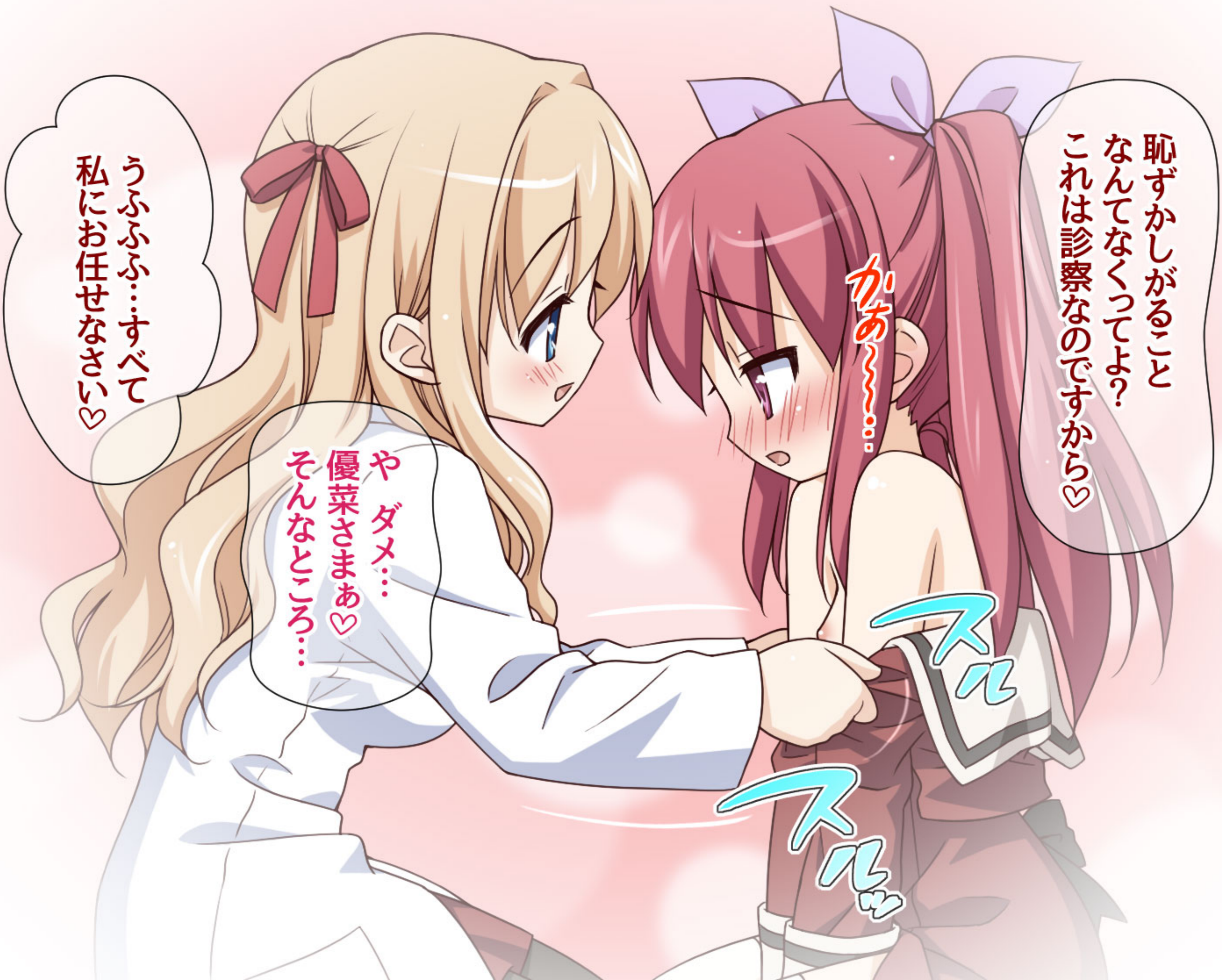
スル
スル
スル

恥ずかしがるって
なんてなくってよっ..
これは診察なのですから♡

かあ~~~~~!!

やダメ..
優菜さまあ♡
そんなとっん..
♡

うふふふ...すべて
私にお任せなさい♡



はっ!?
危ない危ない

清く正しいミカ女の
学生にあるまじき
妄想に突入する
ところだったわ…

わたしってば
優菜さまの「こと」になると
ついついトリップしがち



ていうか…
優菜さまが
どうしたの!?

えっと噂なんですけど…
優菜さまが環境整備委員会の
委員長に就任なるとか

環境整備委員会…って
それホント!?



『環境整備委員会』

それは…
聖ミカエル女子学園における
学生自治の中心的組織…
実質上の生徒会だ

良家のお嬢様たちが
集まるこの学園で
学生の代表として
立つというには…

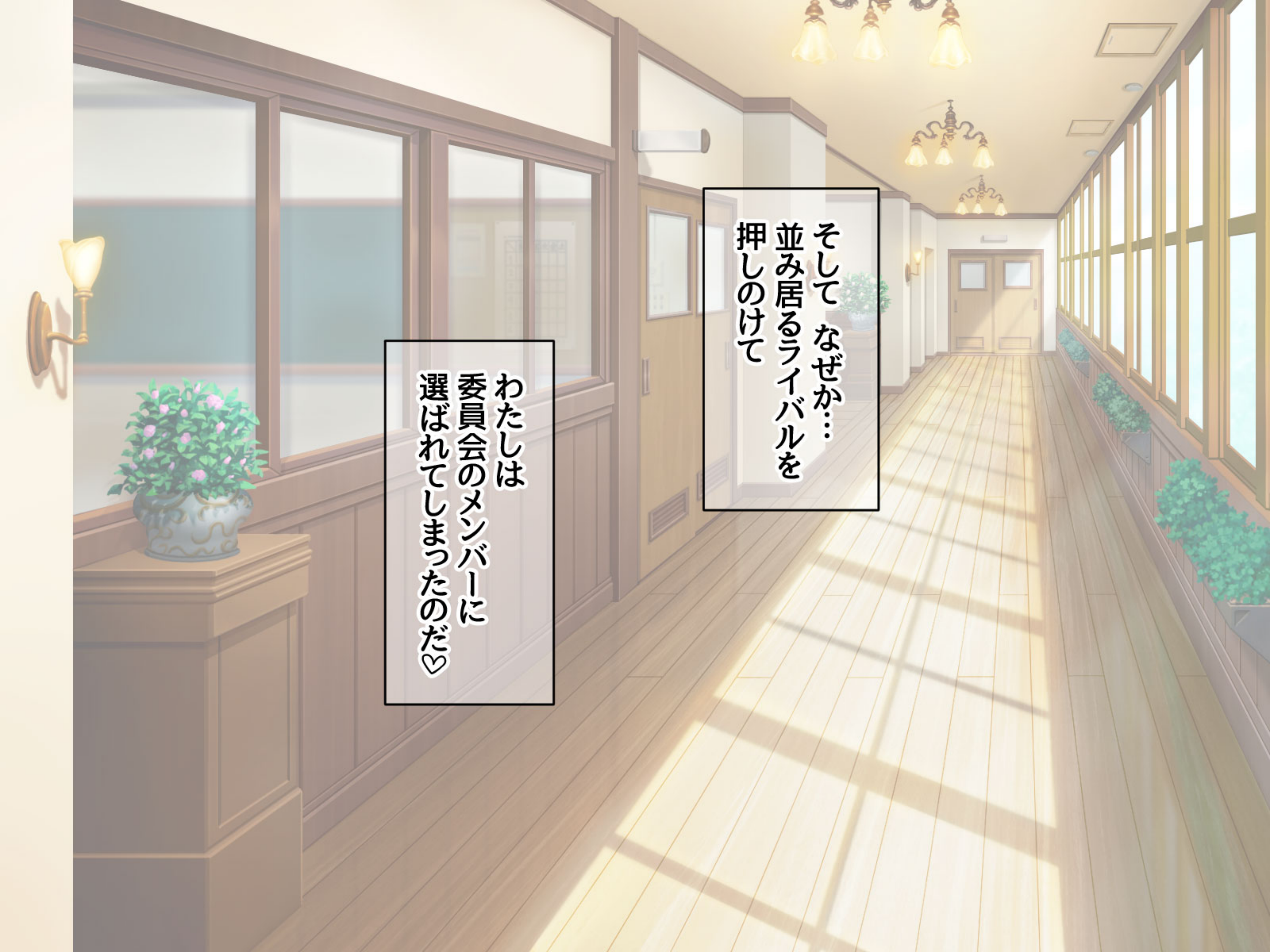
そりやあもう
スゴイ〜と…ら〜い

それで 優菜さまの
委員長就任と同時に
1年生から新しく委員会の
メンバーを集めるんだ——

わたしやる！
委員会！

わたしはさっそうと
手を挙げて
断言していた





そしてなぜか…
並み居るライバルを
押しつけて

わたしは
委員会のメンバーに
選ばれてしまったのだ♡



—後期の
部活動予算の
内訳は以上です

各自 書面にまとめた物を
各部活の部長に
配布しておいてください



ハア…♡

凛とした表情
キレイに整った眉
うつつすらとピンク色の唇…

どれもこれも
ステキすぎる♡

こうして
同じ部屋で同じ空気を
吸っているだけで…
頭が沸騰しそう♡



本日の議題は以上です
ではみなさん…
解散に致しましょう

それにしても…
いつ見ても長くて
キレイな髪だなあ♡

優菜さまが動くとたび
風になびいて
サラサラと揺れる



窓から差し込む
夕日も相まって
まるで金色の光を
振りまいているように…

さわってみたい
…ううん
さわらなくていい

優菜さまの側に立って
香りを嗅ぐだけでも——



七海ちゃん？

そうそう
こんな風に目の前に
立ってくれたら…

七海ちゃん？
委員会
終わったわよ？



ゆゆゆつ
優菜さまが
目の前に!?

うひゃう!?



七海ちゃんだったら…
みんな帰ったつていうのに
一人でボーっと座つて…

へ…？ つて
わたしと優菜さま
だけですか!?

見ればとつくに
委員会のメンバーは
解散している

ええそうよ

ううう
優菜さまに変なところ
見られちゃったよう

でもでもっ
おかげで二人つきり！
になれたしっ





七海ちゃん…なにか
悩み事でもあるの？

な悩みなんて
ないであります！
毎日いっぱい食べてます！

いっばい...
食べてる??

ああっ!!
違った!

そうじゃなくて
全然これっぽっちも
悩みなんでないですっ



優菜さまの前で
わたし変なところ
ばかり見せて——

ああ…
もう死にたい



…げん

…げんげんげん…
…げんげんげん…

はえ？・優菜さまが
笑ってる…

ていうか…必死で
笑いをこらえてる



七海ちゃんって…
ほ 本当についていってもいっても
面白いわ♡

おおもしろいですか
…わたし？

ええとつても♡



まあ…いいか

少なくとも少しは
好かれてるってことだもんね
うん…きつとそうだよ♡

ああつ 環境整備委員会に
入れて ホントに良かった♪



こうして
たまに優菜さまと
お話できるし…

なにより 優菜さまは
わたしのことを
『七海ちゃん』
と呼んでくれる

いつもは『七海さん』
なんだけど…ふとした時に
『七海ちゃん』になるのだ♡



ああ
おかしかった

あら もうこんな時間…
七海ちゃん
一緒に帰りましょうか？

え…あはい♡

ああ 最高っ♡ 委員会の
最中ボートとしてたのが
こんな幸運を呼ぶなんて♡




つて…ああ!?

教室に
ちよつと忘れ物が…
すぐ取ってきてきます!








うー…どうして
優菜さまの前だと
変な失敗ばっか
しちゃうかなあ

いや 失敗はいつもの
ことなんだけど

なんていうか
優菜さまの前だと
頻度が多いような…



うふ…うふ♪でも
おかげで優菜さまと
いっぱいお話できたし♡

今日ばかりは自分の
性格に感謝だわ〜

廊下を歩いていても
自然と足取りが軽くなる

そうだ！せつかくだし…
ちよこつと優菜さまを
驚かしちやおうかなつ

優菜さまのことだから…
静かに本を読んで
待つてるとか 窓辺で外を
眺めてたりするんだ きつと♪

んでそこへ
わたしがやつてきて
後から声をかけるっ
そしたら…

いやー♡
いやー♡
いやー♡
嬉しすぎー♡

『きやうもう…
驚かせないでよ
七海ちゃん♡』とか言いつて
おデコをコジンつて…

つて…妄想してる
場合じゃないっ
優菜さまを
待たせてるんだった…

でも優菜さまが
どんな風に待ってるのか
コッソリ覗くくらいは…

ついしやがみ込んで
こっそりドアを開ける
わたしです♡

優菜さまどこかなー
キヨロキヨロ…

カ
ラ
リ
ン





あれ?
なんだろうこの声

ん…ん…ん…

んあつ…ダメ…もう
やめないとお…

優菜さまの声？

でもなんだか
苦しそうな…





たのしい♡
たのしい♡

おはな

ゆ 優菜さま!?

はなはな♡♡

はなはな

きちやう
…みちやんが戻って…
きちやう…あううう

ああ…ちゃんの
匂い…あーっ…

今まで聞いたことのない
優菜さまのせつない声

せつは詰まったような
それでいてどろりか甘い声

はぁ♡
はぁ♡

はっはっ

そしてよく見ると
優菜さまの白い指先は…

ストッキングに包まれた
ふとももの間で
小刻みに震えている

すはすは

はははは♡♡♡

クキョクキョ

ももしかして
優菜さま…
オナニーしてる…??

わたしだって
それなりに
知識はあるワケで…

自分で慰めたこと
くらい…その
何度かある

すは
すは

クキ
クキ

はは
はは



だけど…人のを
見るのは初めてだ

——ウン
しよしちゅひひゅ…

ずは

はは♡
はは♡

それも
優菜さまの…なんて

クキゅ
クキゅ

……

あう…んっ
んくうううううー！

ふと優菜さまが
握りしめてくる
ものごえびへ

あれわたしの
体操着だ…

はぁ♡
はぁ♡

はな
はな

はな
はな



好き♡好きよ♡
七海ちゃん♡あ♡あ♡♡

ああ
七海ちゃん♡♡



ジュワジュワ
ジュワジュワ
ジュワジュワ

ジュワジュワ
ジュワジュワ
ジュワジュワ

あいつたあ!?

カ
ン
ン

え…私!?



その時――

わたしは
いつもの失敗を
やらかしてしまった

驚いた途端
扉に盛大に頭を
ぶつけたわたし





な
七海ちゃん…

頭をさするわたしを
優菜さまは
呆然と見つめる

その手には まだ
わたしの体操服が
握られたままだった





七海ちゃん…
あなた…

ここれはですね
えいとその…

コツソリ教室のドアを
開けたら 優菜さまが…
オナニーしてて…

うわわわっ！ わたし
優菜さまのオナニー
見ちやっただんだ！



七海ちゃん…
み見たのね？

えつと
それは…

見たのね？

み見たっというか
見てしまった
というか—



あいえっ 見てません！
わたしこれっぽっちも
見てません！

そんな 優菜さまって
あんな声もしちやうんだー
とか 全然！ まったく！
これっぽっちもっ！

…って あれ？



七海ちゃん
やつぱり…

ああっ
つい!?

ゆ
優菜さま…??

七海ちゃんに
見られた…七海ちゃんに
知られちゃった…



だって七海ちゃんに
知られたらぜんぶ
お終いだもの！

だからってそんな
どこからともなく取り出した
ホツチキスを向けられても!?

だ大丈夫よっ！
一気に楽にして
あげるから……ぐんぐんっ

ていうか
ホツチキスじゃ
人は殺せません！

お夕飯を食べて二回♡
勉強の合間にもう一回♡
寝る前にも一回♡

ていうか
一日三回も!?

ううつ 私が
変態さんなの
知られちゃった…



七海ちゃんの大きくて
パツチリした目とか♡
ぷにゅとしたほっぺとか♡

ちゅちゅくて
可愛いおっぱいとか♡
ちよつと言えない
あんな所とか——

想像して妄想してっ
頭の中でエッチなこと
いっぱいしちやつてるっど…
知られちやつたわああ!?

ああの優菜さま…

今だつて七海ちゃん
の体操服を見てたら
ムラムラしちゃつて
つい…

でもね!? 以前は私
こんなエッチな
娘じゃなかったのっ

ホントなのよ!? 私が
こんなになつちやつたのは
あの日—

あ
あの日…?!

入学式の時
七海ちゃんに
出会ってからのなの

ゆ 優菜さま…
入学式の時のこと
覚えててくれたんだ♡

七海ちゃんに
出会ってからの私…おかしく
なっちゃったのよお〜

ゆ 優菜さま…

優菜さまが
泣いてる

大人っぽくて 落ち着いてて
いつも優しく微笑んでる
あの優菜さまが…

うええええん
嫌われちやう…
七海ちゃんに
嫌われちやうよお

嫌つたりなんか
しません!

え…

わたしが優菜さまを
嫌うなんてこと
ぜーったいにありませんっ

だつてわたしは…
入学式の時からずっと
優菜さまのことが
好きなんだから！



な七海ちゃん…

だからです
ね
優菜さまが
わたしのこと
考えて…

その…オナニー
してたとしても
ぜんぜん嫌じゃ
なくて…
むしろ嬉しい
ですっ



七海ちゃん…
それホント？

ホントです！

わたし 優菜さまのいと
大好きですっ



優菜さま
急に黙りこくって…

つてあれ？
優菜さま？

……





あはれ

おはっ!
ちゅっ!
ちゅっ!
ちゅっ!
ちゅっ!

もう
優菜さまってば…♡

すずすず

ガッ
ハヤッハヤッハヤッ♡

でも…不思議と
違和感はなかった♡

ううん…むしろ
今まで以上に
優菜さまが愛しくて…

七海ちゃん
大好き♡

わたしも
優菜さまのこと
大好きです♡

すずすず

ぎゅ
ぎゅぎゅぎゅぎゅぎゅぎゅ♡

♡<~<♡

♡<~<♡



なんでだろ
こんな感じ初めて…

すずすず

ドキドキ
ハヤッハヤッ

ドキドキしてるの
すずすずと穏やかな気持ち♡

Hot ♡
Hot ♡
Hot ♡

毛息
毛息

優菜さまのお口が
わたしの胸を吸ってる♡

優菜さまの手が
わたしのアソコ—
ううん
おまんこを触ってる♡

ダメ…♡ 頭が
変になりそう…♡

ちゅ♡
ちゅ♡



こんな格好...
恥ずかしいです...

チュッ
チュッ

その花びらにくちづけを

あはあつ♡キスしてるう
七海が私のおまんこ♡
…んんあああつ♡

ちゅ…♡お姉さま
気持ちいいですか？

んんん♡いっわ…
とっつも…♡



でもまさか…
こんなふうになれるとは
思ってたなかったわ

ただ七海のこと
いつも近くで
見ていたかったの…

お姉さま
わたしわたし…

うん…

え…

ぎゅっ

七海…♡

あつ イク♡
おまんこ…
イツちやう…♡

あ♡
あ♡
あ♡

は
あ♡

あつ ふああ♡
わわたしもイツちやう♡
おまんこイツちやう♡

その花びらにくちづけを

んんっ 感じる♡
七海の熱をっ…
おまんこに
感じてるっっっっ♡

ああ…愛してる♡
…愛してるわ
七海♡♡♡

好き♡♡♡
らしいゆき♡♡♡
お姉さま♡
お姉さまあ♡♡



んんっ
んんっ

基本画像21枚+立ち絵4体
差分を含め 総CG枚数790枚

原画：ぺこ
シナリオ：佐野晋二郎

その花びらにくちづけを

コミック版